

2021 年度青島日本人会 総会 議 案 書

第 1 号議案 2020 年度事業活動報告

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 2020 年度会計報告

第 3 号議案 2020 年度会計監査報告

第 4 号議案 2021 年度理事及び監事選任

第 5 号議案 2021 年度事業活動計画

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 2021 年度 収支予算案

以上

第1号議案

(1) 2020年度活動報告(全般)

青島日本人会会長
廣田 至夫

1. はじめに

会員の皆様には日頃より青島日本人会の運営、活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2020年度はまさに新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。その世界的拡散を受け、昨年度の総会は会員の皆様の委任のもと、会長・副会長・事務局のみが出席し、後日ホームページにてご報告させていただく様式を採用させていただきました。今回こうしてお集まりいただく総会も2年ぶりとなります。

あらためて昨年度を振り返りますと、中国国内では厳密な流動管理が行われ、世界に先駆けてこのウイルス禍を乗り越えつつあるようです。既に国産のワクチン接種も進んでおり、地域によってはわれわれ外国人にも接種を推奨する動きがあります。一方、日本では9月に菅政権が誕生しましたが、新型コロナウイルス対策、延期となったオリンピック・パラリンピック等々の大きく重い課題を抱えています。そしてアメリカでは、大統領が一期で交替するという大きな動きもありました。アメリカの中国に対する強硬な態度は、新政権になっても変わることがなく、両国の緊張関係はしばらく続きそうな様相を呈しています。来週16日にも菅首相が訪米し、バイデン大統領と会談を行います。今後の日中関係、そしてわれわれの今後の事業環境を占ううえでも重要な会談になると考えています。

2. 青島日本人会の活動について

かねてより青島日本人会としては、会員相互の交流を通じて、明るく元気で活発な日本人社会を作っていく、お互いに助け合いより大きな力が発揮できるコミュニティを育てていくことが、その使命であると考えています。しかしながら、2020年度はウイルス禍により、例年のような活動を行うことができませんでした。昨年度の活動状況については、各理事よりの報告書をご参照ください。

また、昨年度は中国の入国制限を受け、駐在員や帯同家族の渡航に関するアンケートを2度実施しています。いずれの調査中においても状況が想像を超える速さで刻々と変化し、スピード感を持って対応することの難しさを痛感しました。アンケートの集約結果はいずれも要望書という形式で、総領事館を経由して市外事弁公室に提出し、青島日本人会のホームページにも掲出いたしました。また、駐在員・帯同家族の招聘状取得支援に際しては、総領事館から多大なるご協力をいただいたことも、あらためてご報告させていただきます。

一方、青島日本人学校については、ここ 5 年間ほど安定経営が続いていたものの、今回のウイルス禍を受け、再び生徒数の減少に悩まされています。青島日本人学校は青島日本人会設立の私立学校です。本来、学費収入と日本政府からの補助によって運営されるべきですが、青島日本人会としても全力で支援を行っています。

最後に本年度も青島日本人会の活動にご協力いただいた会員の皆様にお礼申し上げますとともに、各種活動にご支援いただいた総領事館・JETRO の皆様にも感謝を申し上げ、私からの活動報告とさせていただきます。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長 谷 直知

副会長 松本 秀二、青木 功

端 彰一郎、本多 亮

1. 活動実績報告

今年度はとくに前半コロナ禍の影響が大きく、商工会としての活動は限定的なものにとどまりました。

- ・中日ビジネスハブ開所式（西海岸新区）（5/19）
- ・成都対中投資プロモーションイベント（7/16）
- ・横井大使、王清憲書記との会見・レセプション（8/27）
- ・山東省旅遊局プロモーションイベント（12/18）
- ・会員企業アンケート実施（コロナ下での政府対応への要望等）（12月）
- ・JETRO 食品部会会合（日中商談会、日中コラボ商品開発）（1/19）
- ・井川原総領事に面会（招聘状と隔離に関する要望）（2/23）
- ・天皇誕生日祝賀レセプション出席（3/22）
- ・山東省日本人会交流会兼安全対策連絡協議会に出席（3/23）
- ・JETRO、食品部会共催 日中合同商談会（3/26）

2. セミナー実績報告

商工会セミナーは計 5 回実施いたしました。なお今年度はテンセント会議を使ってリモート形式でも同時開催しています。参加者は会場 205 名、ウェブ 70 名、合計 275 名（のべ人数）でした。また、セミナー終了後の懇親会は貴重な異業種交流の場として多くの方にご参加いただきました。

2020年度 青島日本人会 商工会セミナー実績

NO.	共催	日程		場所		テーマ	講師
1	ジェトロ	20.9月	17 (木)	クラウンプラザ ホテル	テンセント 会議	改正外商投資法について	北京立動法律事務所 章弁護士
2	ジェトロ	20.10月	22 (木)	クラウンプラザ ホテル	テンセント 会議	最近の会計・税務トピックス	PWC青島事務所 加藤経理
3		20.11月	19 (木)	クラウンプラザ ホテル	テンセント 会議	中国人責任者向け講座	北京大地弁護士事務所 熊弁護士
4	ジェトロ	21.2月	26 (金)	クラウンプラザ ホテル	テンセント 会議	中国西南地域の動向	ジェトロ成都事務所 田中所長
5	在青島日本国総領事館	21.3月	25 (木)	クラウンプラザ ホテル	テンセント 会議	中国における情報・データ規 制の動向	森・濱田松本法律事務所 森弁護士

在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所、その他セミナー開催にご協力を賜りました皆さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

《食品部会》

部会長 松本 秀二

副部会長 滝浪 晋、山本 正広、別所 良起

1. 2020 年度活動報告概要

2020 年度は、新型コロナウイルスの影響により、例年実施していた工場見学、セミナー等の活動を行うことができませんでした。

一方、新たな企画として、日系食品企業の内販拡大支援のための商談会を JETRO 青島事務所との共催で開催致しました。本企画につきましては、ご参加いただきました日系企業及び中国企業の評価を踏まえ、今後の開催につきまして検討を行ってまいります。

ご協力頂いた皆さまとご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

2. 活動実績

「山東省・日中企業（食品加工分野）ビジネス商談会」

概要 : 山東省に進出している日系食品企業の多くは、中国系加工食品企業向けの原料、資材を供給していることから、ターゲットを中国系加工食品企業に絞った商談会を企画しました。

開催日時 : 3月26日 14:00~17:00

場所 : 青島クラウンプラザホテル 3階会議室

参加企業：日系企業 11社
中国企業 30社以上

商談件数：116件（内、成約見込み件数43件）

3. 2021年度の活動方針

2021年度については、新型コロナウイルスによる各種制限の緩和、撤廃を確認しつつ、活動を開催してまいります。

例年開催してきた、食品関連企業・関連施設等の見学と、食品関係の情報発信の二つを活動の中心に据えて、活動を企画していきたいと考えております。

情報発信につきましては、引き続き在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所、在中国日本国大使館等と連携を密にして、会員の皆様に有用な情報をタイムリーに発信していきます。毎回の部会の後は懇親会を設定し、積極的な会員間の交流・親睦を図っていきます。

以上の活動方針のもと、少しでも多くの会員さまに参加いただけるよう活動していく所存ですので、何卒よろしく申し上げます。

《繊維部会》

部会長 青木 功
副部会長 浅井 義広

1. 部会開催状況

2020年度は、年度初めより新型コロナウイルスの影響により多人数の集まり自体が制限されて実質的な活動はできませんでした。感染状況が落ち着いた頃に親睦会だけ行う予定をたてましたが、結果的には断念しました。

部会の中で新規に赴任された方の情報など共有するなどしていましたが、招聘状の発行が遅れている中、赴任の交代者が入国されるケースは非常に少ないものとなりました。

2. 活動内容

特にありません。

3. 2021年度の活動方針、抱負

青島市内の感染状況は抑えられており、且つ抗体ワクチンが順次接種されており、日本人赴任者へのワクチン接種も4月より開始されています。

こうした中で、コロナ禍における繊維業界の経営状況に関する事や、邦人の国内外移

動に関する事など、赴任者が知りたい情報は多岐にわたるため、年度始まり早めにセミナー及び懇親会を実施していきたいと考えています。

日本国内の需要が落ち込む中、中国市場への販売という点においても部会内の関心が集まっています。そこで国内販売に関する情報やリスク管理に関するセミナーなどを早急に実施していきたいと思えます。

JETRO より中国への販売に向けた取り組み(中国関連企業との橋渡し)も進められていますので、今後も一つでも多くの企業が中国国内販売を開始できるように繊維部会として協調していきたいと思っております。

従来は秋の活動は同業、非同業の工場見学をして見聞を広めてきましたが、コロナ対策の中ではご迷惑をおかけするので、別の活動計画を策定中です。

今年度も新任の方にも積極的に参加していただくよう心がけたセミナーや活動を実施していきます。

《機械・電機・化学部会》

部会長 端彰一郎

副部会長 武田裕之、衣川真吾

1. 総括

2020年度は、新型コロナウイルスの感染防止対応を優先して、部会としての全体活動は開催いたしませんでした。

2. 2021年度の活動について

機械・電機・化学部会の課題である、①会員企業様の事業領域が多岐に渡り共通の課題を見出しづらいこと、②青島市外に拠点を構える製造業が多く時間的にも制約が多い、といった状況において、どのように有用な部会活動を進めるかの検討も含めて、会員企業様との交流会の開催を考えております。

《流通サービス部会》

部会長 本多 亮

副部会長 原 義信、井上 薫、高橋英明

1. 総括及び 2020 年度活動

流通サービス部会は運輸、倉庫、小売、各種サービス、金融など、業種が極めて多岐にわたります。他の部会と異なり、部会固有の課題を見つけるのが大変ななか、なるべく皆様に興味を持っていただけるようなテーマの講演や、会員の知見を深める見学活動などを企画するよう努めております。また、皆様の交流の場としてもぜひご活用いただければと考えております。

2020 年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を優先し、流通サービス部会としての全体活動は残念ながら行うことが出来ませんでした。

2. 2021 年度活動について

2021 年度は、新型コロナウイルスの状況も見ながら、会員企業の様々なニーズにお応えして、流通サービス部会として当地での事業活動のお役にたてるような活動をして参りたいと考えています。会員企業の中で、新規に赴任された方々にも参加頂きやすい形での懇親会の開催を予定しております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 川田正博

副会長 酒井康雄、坪井康人

荒木信太郎、吉田智久美

1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して、各種の親睦活動、生活文化関連の取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「7つの同好会（2021年4月1日現在）」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

2. 主な行事活動

2020年度におきましては、年初からの中国国内における新型コロナウイルスの蔓延および世界中へ感染が拡大する中、計画していた青島日本人会運動会・納涼祭り・新年会等、大勢の人が集まるイベントの開催には慎重にならざるを得ず、会員の皆様、ご家族の皆様の安全を第一に考え、各イベントは全て中止とさせて頂きました。

3. 総括

2020年度に開催を計画していた各種イベントにつきましては、残念ながら中止を余儀なくされましたが、中止決定までの間にも数多くのご意見・アドバイスを頂き、皆様へ改めて感謝申し上げます。2021年度は各イベントの開催ができるよう、日本人会理事会、生活文化会としても企画・立案してまいります。

引き続き生活文化会の活動につきましてご理解を賜り、ご協力、ご支援、またご参加を頂戴したくよろしくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては情報誌である「月刊青島」を発行するとともに、「ちんたお文庫」を運営しております。充実した文庫数、蔵書環境が整っておりますので、引き続きのご利用をお待ちしております。更に婦人会の活動、ゴルフ・テニス・ソフトボール・ヨット・卓球の体育会系同好会と、写真・青島歴史研究会の文化系同好会、そして青島での生活における安全という面で総領事館と連携しながら活動しています。以下にそれらの活動報告を載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

《ちんたお文庫活動報告》

役員 中山、徳永

文庫蔵書総数	5381 冊（一昨年度）
新規会員年間総数	0 人
年間利用者延べ数	0 人
寄贈本年間冊数	0 冊

＜役員活動内容＞

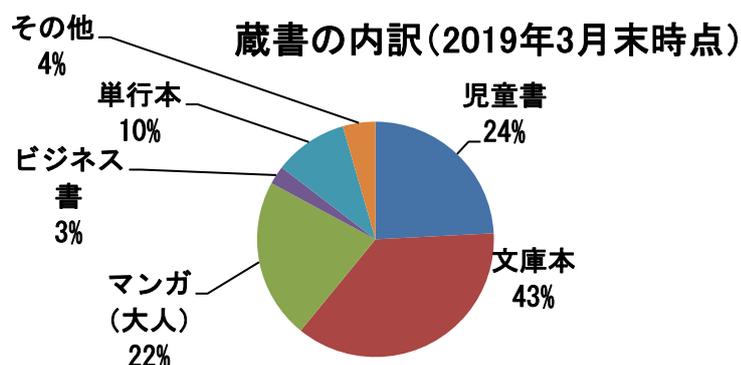
- ・各情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整（月1回）

＜今年度活動報告＞

- ・月刊青島『ちんたお文庫便り』の掲載（2016年4月より季刊発信）
内容：おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内等

＜総括＞

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で活動が大きく制限され、開館することが叶いませんでした。蔵書の総数や内訳につきましても、数えることができない状況です。参考までに2019年度の内訳グラフを提示いたします。



＜次年度への課題＞

次年度の活動再開後には、より多くの方にちんたお文庫をご利用いただきたいです。そのためにまず挙げられる課題は、ちんたお文庫を知っていただくこと、また、利用のしやすさです。日本人学校の校内にあるため、学校関係者以外の方からは「ちんたお文庫があることを知らなかった」「どうやって入ったらよいか分からない」「休日の学校には入りづらい」という声が多く聞こえました。特に未就学児のお子様がい

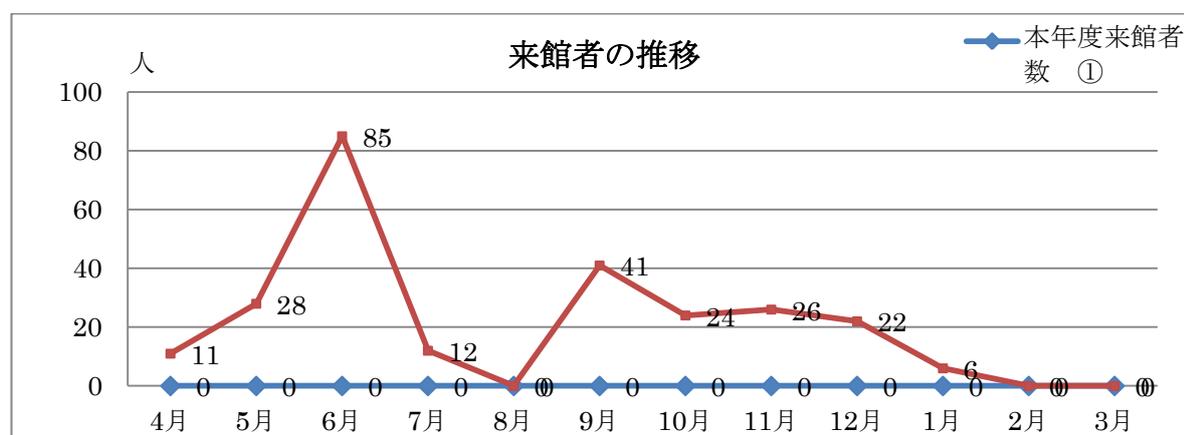
らっしゃるご家庭については、「遠いので子連れでは行きにくい」という声もいただきました。ちんたお文庫についての周知だけでなく、アクセスや入館方法、また日本人会へも返却が可能な旨を周知していくことで、ご利用を促進したいと思います。

また、ボランティアメンバーの増員も大きな課題になっています。前年度に参加していたメンバーはほぼ全員が青島を離れており、役員を選出についても困難な状況になりました。ボランティアメンバーの増員は、幅広い方への周知や来館者を増やすことにもつながりますので、より多くの方々にご協力いただけるようにお声がけしていきたいと思っています。

ちんたお文庫では、絵本や児童書はもちろん、ビジネス関連の書籍や小説、新書など幅広いジャンルの本を寄贈していただいております。今後も青島在住の皆さまに気持ちよく利用していただける図書館になるよう努めてまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

資料：年間来館者の推移（2021年3月末日現在） ※2020年度は休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本年度来館者数 ①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昨年度来館者数 ②	11	28	85	12	0	41	24	26	22	6	0	0	255
増減数①-②	-11	-28	-85	-12	0	-41	-24	-26	-22	-6	0	0	-255
新規会員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規登録本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



《情報誌「月刊青島」》

編集担当 事務局

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月10日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、運動会、納涼祭、新年会等の日本人会の活動についての報告、総領事館・ジェトロ・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だより」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、会員の動向等の情報を掲載しています。また「ふるさと自慢」といった連載もあります。

2020年度前半は、活動が制限されていたこともあって、記事が集まりにくいという状況もありましたが、最近はもとの構成に戻って来つつあります。今後は内容をさらに充実させ、皆さまの役に立つ生活情報の発信や、青島におけるご縁を大事にして多くの会員の皆さまに誌面に登場していただけるような記事を掲載したいと考えております。

「月刊青島」は日本人会会員の皆さまのご協力・ご支援をいただき、そして皆さまに支えられて発信を行っています。WEB情報誌の編集にご関心のある方は是非ご連絡ください。また「月刊青島」に対するご要望・ご意見、取り上げてほしい企画等がありましたらご連絡ください。

《青島歴史研究会》

青島日本人会は2010年に20周年記念として青島日本人学校の庭に石碑と植樹をしました。その節、戦前に青島で生活され、日本で青島会を主宰されている諸先輩と交流会を催し、ブログを掲載されていた足立吉弘様（故人）を中心に、戦前の日本社会、歴史的建物の講話、見学をしてきました。また、諸先輩方より、当時の貴重な写真、会誌を提供いただき、日本人学校の一室に資料室をつくり、保存しています。

残念ながら、先輩の不幸や体調不良で、特に戦前の青島とゆかりの方は年々減少していくのは避けられません。

一方、日中国交回復以来50年を経過し、新しい青島との歴史も記録されてきます。日本から進出した企業を中心に、まずは資料の収集や整理をこころがけるところから地道にやっていきたいと思っております。青島勤務を終えて日本に帰国された方々が各地で連絡をとりながら「青島会」を開いています。こちらとも末永く関係が続けたいと思っております。まずは定期的な会合を開きます。

《婦人会》

1. 2020 年の報告

2020 年度は帯同家族へのビザ発給が途中で止まってしまったこともあり、婦人会は会員を集めることさえ困難となってしまいました。活動は一切ありませんでした。

2. 2021 年度の抱負として

最近帯同家族に対する招聘状もすこしずつ出てきているようにも聞いています。家族の皆様が青島に来られるようになれば、また新規まき直しで会員を集め、仮にすくない人数でも中身の濃い活動をしていけたらと考えております。

新型コロナウイルスの影響は今までに思いも及ばなかったものですが、これを機会に新しい婦人会のあり方も模索できればよいのではないかと考えます。

《ゴルフ同好会》

会長 矢部 人司
事務局長 川畑 啓樹
会長 松本 秀二
事務局長 内藤 善信

1. 活動状況報告

2020 年度は 5 回のコンペと初心者向けのゴルフ講習会を計画しておりましたが、新型肺炎の影響を考慮した結果、全ての活動を中止致しました。

2020 年 8 月末永年事務局として手腕を発揮された藤田様が帰任されたのを機に事務局交代、又、2021 年 3 月中旬には会長の矢部様から松本様に交代となりました。

2. 2021 年度の活動について

2021 年度は 5 回のコンペと初心者向けゴルフ講習会を計画しており、3 月 27 日に青島華山ゴルフ新コースにて第 135 回コンペを開催致しました。

コンペ後の会食・表彰式無しと変則的なコンペとなりましたが、32 名(内 5 名は初参加)の方に参加いただきました。

次回は 5 月 22 日を予定しており、会食・表彰式も執り行う予定にしております。今年度も引き続き「敷居の高くない、誰もが楽しめるようなコンペ」を開催していくとともに、ゴルフレッスンや若い方やゴルフの経験の少ない方にも積極的に参加していただける企画を行っていく予定です。

ゴルフ同好会は「上手な方ばかり」「ルールやマナーが今一つ解らない」等で参加を躊躇されている方は是非ご連絡ください。

青島でのゴルフライフが少しでも充実したものになるよう、皆様の御協力のもとで運営していきます。

- ① 03月28日(土) 華山ゴルフ新コース
- ② 05月22日(土) 未定
- ③ 07月03日(土) 未定
- ④ 09月04日(土) 未定
- ⑤ 11月27日(土) 未定

連絡先: 内藤 携帯 138-0895-1321

メール y.naito@qdsankyu.com.cn

《テニス同好会》

会長 大橋 勲

1. 会概要

目的： テニスを通して、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る

会員数： 2021年3月現在、34名(男性27名/女性7名)にて運営

会費： 600元/半期(高校生以下は300元)

活動場所/時間： 銀都花園テニスコート、毎週日曜日 9:30~12:30

練習内容： 9:30~11:00 レベル別スクール形式での練習

11:00~12:30 レベル別試合形式での練習

(12:30~ 昼食会、但し自由参加)

2. 年間活動

定期活動： 毎週日曜日の定期練習

イベント： 4月 チーム内紅白戦①

10月 チーム内紅白戦②

11月 ハロウィンテニス

12月 チーム内紅白戦③、クリスマス会

対外試合： 8月 日中韓交流戦(韓国、中国チームとの個人戦)

10月 蘇州日本人テニス同好会(ナイスラン)と交流戦

12月 第41回秋季クラブ対抗戦(上海)

* 送別会など帰国及び異動される方がいる場合適宜実施

【収支】

前年度繰越金 51,025 円
20 年度収入 27,275 円
20 年度支出 41,717 円
次年度繰越金 36,583 円

3. 総括

2020 年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響がありましたが、4 月より中国に残っていた数名で活動を再開し、5 月以降はかなりのメンバーが中国に戻ることができ、ほぼ休まず毎週日曜日テニス活動を行ってまいりました。本年度も昨年に引き続き、上級者から初中級者、小中学生から年配の方まで幅広く新入会員の方々が入部され、活発にテニス活動を続けております。

メンバー一同は、日々技術向上を図っております。上級者については、青島市などの公式な団体戦が中止される中、8 月には日中韓チームの有志でトーナメント戦の交流試合を行いました。試合結果よりも、困難な中、お互いに交流できたことが素晴らしかったです。12 月は、上海開催の日本人団体戦では 40 チームが集まる中、昨年に引き続きベスト 16 まで進出することができました。また、初中級、上級者ともに、日曜日以外にも、水曜日、土曜日と有志で気軽に集って、レベルアップを図っております。

そしてテニスの追及以上に力を入れてきたのが、老若男女問わず、練習やゲーム時の一体感と、アットホームな雰囲気作りです。また定期的な懇親会やハロウィン、クリスマス会などのイベントを催し、テニス以外での人脈作りや情報交流の場となっています。

2021 年度も、昨年に引き続き上位チームは各大会で優勝を目指す、初中級チームは、交流戦の機会を多くし、韓国、中国などと国際交流をより深めて行きたいと考えております。テニス同好会が、健康促進と憩いの場として継続するよう、会員一同の協力の元、運営していきたいと思っております。

《ソフトボール同好会》

会長 小森茂樹

1. 同好会概要

創部 23 年目を迎えた 2020 年も「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的として、ソフトボール活動を中心として交流を深めました。

2020 年 12 月末現在、子供 2 人を含む 36 人の会員がおり、小森会長以下、副会長、事務局、運営、会計、チームキャプテン（2 名）の役員を置いて、同好会を運営し

ています。

活動場所：青島市市南区汇泉广场サッカーグラウンド

(例年は青島科技大学のグラウンドを使用していますが、新型コロナウイルスの影響を受けて使用できない状態が続いており、現在は市内のサッカーグラウンドを借りて活動しています)

活動時間：毎週日曜日 午前8時～10時

年会費：男性700元、女性350元、学生300元、未成年200元、
家族・夫婦1000元

2. 年間活動

例年通り1月に1年間の所属チームを決めるドラフト会議を行い、3月の開幕を待つだけという状況で春節休みに入りました。が、新型コロナウイルス発生・流行を受け、参加人数、グラウンド確保などの問題の解決時期が不透明な状態が続き、やむを得ずシーズン開幕を延期することとしました。

2020年最初のソフトボール活動は5月3日に行うことができました。試合を行うことはできませんでしたが、久しぶりにバットやボールを握る人も多く、これ以降毎週日曜日に集まり、練習と変則形式ながら試合を行い、活動を再開していきましました。

7月には同好会のゴルフコンペも再開し、8月には黄島チームとの交流戦も実施、活動はさらに活発なものとなっていきました。例年は活動休止期間となる国慶節期間も、日本に戻れないという事情もあり、2日連続で活動を行いました。

年間最後の活動月となる11月には2週に渡る優勝決定戦を行い、2020年年間優勝チームを決定しました。12/5には納会を開催し、優勝チーム、優秀選手の表彰を同好会として行い、1年間の活動を無事に終えることができました。

3. 特別活動

毎週のソフトボール活動以外では、8月に黄島チームと交流試合を行い、試合後は懇親会を開催して親睦を深めました。ソフトボール以外では、ゴルフコンペや会員の家に集まってのホームパーティー(たこ焼き、お好み焼き他)を開催しました。

1月 ドラフト会議／新年会

2-4月 新型コロナウイルスの影響を受け、活動を一時休止

5月 活動再開(以降毎週日曜日に活動)

6-10月 練習・変則試合の活動／黄島チーム交流戦／ゴルフコンペ／
ホームパーティー

11月 優勝決定戦

12月 同好会納会／忘年会

2020年は新型コロナウイルスの影響を受け、変則的な活動とならざるを得ない1年間でした。そのような中、会員同士が知恵を出し合って5月に活動を再開し、以降は11月までほぼ毎週活動することができました。新型コロナウイルスの影響で、日本へ帰任が決まった方、一時帰国のまま青島へ戻れずそのまま帰任となったメンバーがいる一方で、2020年は新たに7名の新入会員を迎えることができ、年の後半には青島に戻ってくることができた既存会員も加わり、2021年も同好会活動を続けることができます。会員1人1人の参加意欲、同好会を盛り上げようという意味はもちろんですが、青島日本人会の御理解、会員各企業様の御支援のおかげで当会が運営できていることを、この場を借りて御礼申し上げます。本年も明るく、楽しく、笑顔あふれる同行会活動を進めてまいります。

《ヨット同好会》

1. 同好会概要

本同好会は青島日本人会の目的・規約と精神に則り、青島に在住する日本人のヨット活動を通じ会員相互の親睦を図り、健康と余暇の充実に寄与することを目的としています。

2. 現在の状況

代表を務めておられた西垣様のご帰国後、活動を引き継ぐ方がおられず、2020年度は活動なし、また2021年度の予定もたっていません。

どなたか引き継がれる方がおられるようでしたら、どうぞ事務局までご連絡ください。

《写真同好会》

会長：牛坊茂和

1. 同好会概要

写真同好会では毎月一回撮影課題(テーマ)を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん青島」に掲載されます。

2. 活動報告

上記以外に不定期ですが、撮影会や撮影旅行を予定しております。

写真撮影にご興味のある方(携帯写真を含む)のご参加をお待ちしております。

21 年度も皆様の思い出を記録するお手伝いをさせていただきます。

月	月例会テーマ		
4 月	春	影	自由
5 月	笑顔	緑	自由
6 月	初夏	生き物	自由
7 月	水	モノクローム	自由
8 月	音楽	夏	自由
9 月	雨	空	自由
10 月	夕方	動物	自由
11 月	ストリートスナップ	実り	自由
12 月	にぎやか	紅葉	自由
1 月	寒さ	夜景	自由
2 月	お祝い	テーブルフォト	自由
3 月	建物	植物	自由

《卓球同好会》

会員 22 名（2021 年 3 月現在）

1. 同好会活動目的

- ① 卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ② 卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

2. 日常の活動

定例練習日：

毎週土曜日 16：00-19：00

毎週土曜日 15：30-18：30

会費の徴収：

会費としては、場所代として当日参加者から、1 人あたり 30 元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

3. 2020年度の活動状況

卓球は対面してボールを打ち合う競技のため、前後左右2メートルずつ離れていれば可ということで、比較的早い時期に練習場所を得ることができました。2020年の傾向としては、学校での部活経験のない方が多く参加して下さったことです。上海や蘇州といった経験者が多くを占める地域の同好会とはまた違う卓球の楽しみ方ができたのではないかと考えております。

4. 2021年度の目標

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。新型コロナウイルスによる制限がどうなるのか予想はできませんが、昨年計画していながらできなかった蘇州での「中国全国日本人卓球同好会合同合宿」も、本年は実施される予定です。もし他の地域との交流が難しくなった場合でも、青島にある中国人や韓国人のクラブとの交流を深めていければと考えております。

(4) 2020年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会

理事長 小林祐介

副理事長 原 義信

日頃より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で例年の入学式も延期とせざるを得ない状況となり、また、学校への登校がままならない中、いままで経験のない、オンラインでの授業をスタートとなりました。その間におきましても学校教職員、学校事務局において、青島市教育局などと相談、折衝し、学校での授業再開に向けての対応を重ね、ようやく、5月に入り、学校への登校が再開に至りました。また、保護者の方のご理解、ご協力もあり、このような非常事態においても、学校教育を止めることなく運営ができたこと、感謝いたします。

一方で、ビザ発給停止などにより、日本に一時帰国していた児童生徒が青島に戻って来られない状況が発生し、80名程度いた児童生徒が、50名程度となりました。当初は日本にいる児童生徒ともオンライン授業を行っておりましたが、青島に戻れる目途が立たない、日本の学校が平常運営となったこともあり、残念ながら、青島日本人学校から去らざるを得ないといったことが発生しました。

様々な制限の中、厳しい環境でありましたが、児童生徒は学校での勉強、活動に一生懸命取組を行いました。先生が日本からリモートで行うオンライン授業にも慣れ、また、iPad、や電子ボードを利用した授業、電子教科書の利用などICTの活用を積極的に行いました。毎年行っている現地校との交流はオンライン実施、職場体験もオンラインで実施など、新型コロナウイルス禍においても、できる限りことの実行し、立ち止まることがない体制を構築し、平常時と同じ教育課程遂行に努めました。

年度末の卒業式は、直前での政府からの新型コロナウイルス対応指示に従い、登校ができないということもありましたが、どうにか無事に行うことができ、3月6日に学校体育館において、井川原賢総領事を来賓としてお招きし、小学部6年生6名、中学部3年生2名が、ご卒業児童生徒保護者、全学年児童・生徒、教職員、理事会、政府関係者等が見守る中、ご卒業されました。

さて、2020年度は誰も想像していなかった環境ではありましたが、2019年からの中期目標である「日本を俯瞰できる眼をもち、切磋琢磨する児童生徒の育成」の実現に

向け、教育に熱心な教職員と共に、青島の地域性を活かした教育課程を編成し、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童生徒の育成を行っています。青島日本人学校はこれからも、豊かな心を持ち自ら学び鍛える、たくましい児童生徒の育成に注力して参ります。

今年度は先述のとおり、生徒数が激減し、3学期終了時点で49名（小学部37名、中学部12名）の在籍となり、学校財政は、学費収入に加え日本国政府からの補助金、皆様のご厚意によるご寄付も頂いておりますが、大変厳しい状況になりました。児童生徒数が新型コロナウイルス前の水準に戻るためには、早期に中国と日本と往来が改善されることを切に願う限りです。

新型コロナウイルス感染の状況対応を含めて、在青島日本国総領事館や青島日本人会の皆様から多大なるご支援、ご協力を頂戴しており、この場をお借りし心より御礼申し上げます。

離任された先生方においては、今までの日本人学校への多大な貢献に感謝申し上げます。また、留任される教職員の皆様には、難しい状況が続く中、児童生徒の育成、青島日本人学校の維持発展に、継続的なご対応に感謝申し上げます。

新年度、学校運営上の様々な難局を乗り越えるべく、取り組んで参ります。青島日本人会会員の皆様の引き続きのご支援を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

【主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議
- ・ 各種報告（校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他）
- ・ 学校を取り巻く様々な課題への対応

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催（年10回 オンライン含む）
- ・ 青島日本人学校入学説明会（中止）
- ・ 入学式（入学を祝う会）、卒業式、学校行事陪席

【学校案内】

名 称：青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

住 所：青島市市北区同安路56号

学 費：入学金15,000元、授業料5,000元/月

（別途、スクールバス・PTA会費他）

第2号議案

2020年度会計報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年4月1日

(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	1,045,778	1. 事務局費	254,589
2. 2020年度会費収入	611,000	2. 商工会活動費	25,700
法人会員	606,400	全体会	25,700
個人会員	4,600	部会	
3. 臨時会費収入	0	地区分科会	
・総会懇親会会費	0	3. 生活文化関連費	20,000
・新年会会費	0	婦人会	0
4. 銀行利子	17,203	ちんたお文庫	0
5. その他(寄付、敷金返金等)	21,028	運動会	0
		月刊青島	12,000
		歴史保存会	0
		納涼会	0
		公認同好会支援	8,000
		社会奉仕	0
		4. 会議費	0
		総会	0
		新年会	0
		5. 日本人学校支援費	520,000
		(過年度の保留20万元支払を含む)	
		6. ジャパンデー等文化催事	0
		7. 情報整理(HP改修等)	0
		8. 次年度繰越金	874,720
【 合計 】	1,695,009	【 合計 】	1,695,009

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第30期(2020年4月1日～2021年3月31日)の会計検査を関係帳簿、信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2021年4月2日
青島日本人会 監事

片瀬 修 
濱本 昌太 

第4号議案

2021年度 青島日本人会 理事及び監事(案)

名前	所属企業名	職位
理事 青木 功	青島嘉都麗時裝有限公司	總經理
理事 浅井 義広	豊島国際(上海)有限公司 青島分公司	副總經理
理事 荒木信太郎	日郵物流(中国)有限公司青島分公司	
理事 安藤 孝雄	青島誠營食品檢測有限公司	總經理
理事 岩成 齊	伊藤忠(青島)有限公司	總經理
理事 川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事 衣川 真吾	青島松下電子部品(保稅区)有限公司	總經理
理事 小林 祐介	日本興亜財産保險(中国)有限責任公司山東分公司	總經理
理事 酒井 康雄	依摩泰(青島)商貿有限公司	總經理
理事 高橋 英明	みずほ銀行(中国)有限公司 青島支店	副支店長
理事 滝浪 晋	青島日水食品研究開発有限公司	總經理
理事 谷 直知	青島永旺東泰商業有限公司	總經理
理事 坪井 康人	上海住友商事有限公司青島分公司	
理事 西原 典男	青島新東機械有限公司	總經理
理事 端 彰一郎	東麗医療科技(青島)股份有限公司	總經理
理事 原 義信	三菱日聯銀行(中国)青島分行	支店長
理事 廣田 至夫	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長
理事 本多 亮	三菱商事(青島)有限公司	總經理
理事 松本 秀二	新日清制粉食品(青島)有限公司	總經理
理事 山本 正広	青島扶桑精製加工有限公司	副董事長
理事 横田 博文	青島聯合包裝有限公司	副總經理
理事 吉川 明伸	日本貿易振興機構(JETRO)青島代表処	所長
理事 吉田智久美	在青島日本国総領事館	首席領事
監事 片渕 修	獅王日用化工(青島)有限公司	董事
監事 濱谷 昌秀	青島泰宝美容食品有限公司	總經理

第5号議案

(1) 2021年度事業活動計画

青島日本人会会長
谷 直知

1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大という未曾有の事態に見舞われた2020年が終わりを、本年度は中国経済の確かな復調の手ごたえとともに幕を開けております。当地青島でも、新空港の開業やデジタル人民元の実証実験など、新しい時代を予感させるイベントが本年度中に予定されています。

私たち青島日本人会、青島日本人学校、そして当地における日本人コミュニティも昨年度はその活動に大きな制限を受けていましたが、今年はいよいよ正常化がテーマとなる一年だと思えます。また、来年には日中国交正常化50周年という記念すべき年がひかえています。2021年度は明るく活発な日本人会としての事業活動を再開し、また会員企業が当地での活動を円滑に行えるよう環境整備に努めるとともに、あらためて青島の人々との交流を通し両国の友好の輪を広げていきたいと考えています。

「正常化」に向けて未解決の課題もあります。出張者やご家族を含む邦人に対する招聘状やビザの円滑な発行については、在青島日本国総領事館のお力添えを頂きながら、継続的に当局へのお願いをしてまいります。また在留邦人とそのご家族の減少に伴って運営環境が激変した日本人学校についても、再活性化へ向けてその運営を支援する必要があります。そして新型コロナウイルス収束後のビジネス環境の大きな変化についても、JETRO 青島事務所のサポートを頂きながら積極的に情報収集を行い、会員企業のみならずと共有してまいりたいと考えています。

会員の皆さまには日本人会の活動に対し今後もさらなるご支援、ご協力を賜りたく存じます。そして、ぜひ本年度の諸活動への積極的なご参加をよろしく願いいたします。

2. 活動計画

- ① 青島市政府との関係強化
- ② 青島日本人学校の運営
- ③ 在青島日本国総領事館、JETRO 青島事務所との連携
- ④ 事業活動、各種行事の再開・正常化
- ⑤ 当地企業との交流、コラボレーション
- ⑥ 地域貢献活動

(2) 商工会

商工会会長

本多 亮

1. 2021 年度活動方針

青島日本人会商工会の活動目的は「企業活動に係わる有効な情報交換の機会を提供すること」であり、青島における会員企業様の円滑な事業活動をサポートする為の組織です。

商工会は、「食品部会」、「繊維部会」、「機械・電機・化学部会」、「流通・サービス部会」の4部会から構成され、どの企業様にもいずれかの部会に所属して頂いており、複数の部会に登録する事も可能です。現在の登録企業数は、食品部会 81 社、繊維部会 75 社、機械・電機・化学部会 111 社、流通・サービス部会 93 社となっております。

2021 年度の商工会活動方針は、昨 2020 年度が新型コロナウイルスに翻弄され、活動を自粛せざるを得なかったことから、今年度は出来る限り早く一昨年 2019 年度の活動状況に戻すことを目指したいと思っております。加え、まだ完全には終息しているとは言えない新型コロナウイルス関連の最新情報、事業継続に必要な政府施策や諸制度の情報、地域経済、社会、企業の動向につき、商工会は地域政府との間を結ぶ窓口として機能し、情報提供・情報共有を積極的に図ってまいります。またこれらの情報は青島のみならず山東省他都市の日本人会とも共有出来ればと思っております。

また昨年度までと同様、日本総領事館、JETRO 青島と共同で、会員企業様向けに質の高いセミナーを開催して参ります。会員企業様にとっては良い情報収集・学びの場になると思われますので、是非積極的にご参加頂ければと存じます。また、セミナーで取り上げる内容は商工会事務局で決定しますが、会員企業様からもセミナーテーマのご希望があれば是非お寄せ頂きたいと思っております。

2. 各部会活動

商工会全体での活動の他に、食品、繊維、機械・電機・化学、流通・サービス各部会で勉強会、工場見学会、懇親会などの開催を通して会員企業同士の学びと情報交換、交流の場を作ります。

3. セミナー開催

日本国総領事館、JETRO 青島と連携し、会計・税務、労務他、会員企業様に有益かつ関心の高い情報を提供します。セミナー後には会員企業同士の懇親会も行いますので、奮ってご参加下さい。

4. 政府関係機関、地域社会との交流

山東省、青島市の各政府機関および日本国総領事館、JETRO と良好な関係を構築し、会員企業のスムーズな企業活動のサポートに努めます。また、新型コロナウイルスの状況にも拠りますが、地域社会に貢献する為、ゴミ拾いや CSR 活動なども検討したいと考えております。

(3) 生活文化会

生活文化会会長

川田 正博

1. 2021年度の活動方針

生活文化会は、日本人同士が心を通わせて、お互いにコミュニケーションを図ることができる機会を提供することを目的として活動しております。会員皆さまのご意見を頂きながら、会員の皆様に楽しんでいただける、そして子供たちの笑顔が溢れる、参加しやすい行事の開催を目指していきたいと思います。

中国における新型コロナウイルスの感染状況は概ね収束という状況であり、前年度開催できなかった各イベントについては、開催の方向にて検討していきたいと思います。

生活文化会も帰任等によるメンバーの入れ替えがありますが、今後もスムーズな運営ができるよう一致団結して頑張っていく所存です。今年度も皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 主な活動内容

- ① 青島日本人会運動会、納涼祭り、新年会の企画実行
- ② 社会貢献活動の実施
- ③ ちんたお文庫運営に対する支援
- ④ 各同好会・婦人会への活動支援
- ⑤ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信
- ⑥ 青島の文化・歴史についての調査、研究支援

(4) 青島日本人学校運営理事会

青島日本人学校運営理事会

理事長 小林祐介

副理事長 原 義信

青島日本人学校は、青島日本人会の下、文部科学省が示している小・中学校学習指導要領に準拠し、また、国際社会の中での将来を担う児童生徒の健やかな成長、学問習得を全力でサポートする教職員が集う素晴らしい学校です。

新年度も昨年着任された渡邊浩之校長の指揮の下、教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」、2019年度からの中期目標である「多様性を理解し、自他を尊重しながら切磋琢磨する児童生徒の育成」のもと、児童生徒が日々の日本人学校での学習や青島での生活を通して、多文化、多言語、多様な価値観があることを感じ、また、日本の習慣、文化などと比較しながら、視野を広く持ち、物事に取り組むことを重視致します。

また、少人数の学習指導と異学年交流の成果である家族的な関係を維持しつつ、お互いを尊重し向上し合い、高みを目指した人間関係の形成を重視します。

その実現に向け、日本全国から集まった個性あふれる教職員が熱心な指導を行い、「教育の機会均等」の精神に則り、日本国民としてふさわしい、質の高い教育を行います。そして青島の地域性を活かした教育課程を基礎に、日中の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣を身につけた国際性豊かな児童・生徒の育成をしていくものです。

青島日本人学校運営理事会は、当校の学校活動を全面的に支援し、健全運営のための議論を活発化させ、より良き学校運営に努める所存です。

新型コロナウイルス対策によるビザ発給、出入国など各種規制の影響で、児童・生徒数は減少し、4月新学期開始時点で50名（小学部34名、中学部16名）の予定です。日本人学校の運営は、児童生徒数減少に伴い、厳しい環境下にあり、特に財務面において赤字となるなど課題が発生しておりますが、在青島日本国総領事館、また青島日本人会会員の皆様のご支援を得ながら、課題解決に取り組んでいく所存です。この魅力ある、素晴らしい学校を長く安定的に運営するための最善の方法を学校運営理事会としては真剣に考えていきます。

青島日本人学校運営理事会一同、精一杯努力して参りますので、皆様のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

また、コロナ禍のこのような環境ではございますが、小中学校へ就学予定のお子様を帯同される社員・職員様に対し、是非、青島日本人学校の素晴らしさについてお話し頂ければ大変ありがたく存じます。

第 6 号議案

2021 年度予算案

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

2021 年 4 月 10 日

(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	874,720	1. 事務局費	275,000
		2. 商工会活動費	67,000
		全体会	35,000
		部会	20,000
2. 2021年度会費収入見込	601,500	地区分科会	12,000
法人会員(285社*2100元)	598,500	3. 生活文化関連費	98,000
個人会員(15*200元)	3,000	婦人会	3,000
		ちんたお文庫	22,000
3. 臨時会費収入見込	80,000	運動会	2,000
・総会懇親会会費	23,000	月刊青島	12,000
・新年会会費	57,000	歴史保存会	2,000
		納涼会	35,000
4. 銀行利子見込	6,000	公認同好会支援	22,000
		4. 会議費	120,000
		総会	30,000
5. その他(寄付など)	0	新年会	90,000
		5. 日本人学校支援費	100,000
		6. 文化関連費	22,000
		7. 情報整理(HP改修等)	5,000
		9. 次年度繰越金	875,220
【 合計 】	1,562,220	【 合計 】	1,562,220